品川工場に勿論　福島縣の湯本赤井、平　泉平、でも今尚ほ一片の煙丸が出來ないとせうかの！

その上近頃　日本鋼管会社から注文のノヅル、ストッパー　も素人を四五人使つて造つて造つて見たがウマク行かなくて返されてしまつたのです

尚ほ私達の謂ふことは信じられなく思はれる方は社會から最も信頼を得て居る帝國興信日報の十一月二日及今五日発行の記事をお読みになれば私達の言がよくお分りになります

品川白煙丸の近況と云ふ見出しで、　学議介を一案固と会社の不真目な決意報告

伊藤専務のアヤシイ態度が私達の述べた如く　正しく批判されて居ります

処の末節に次の如く抗んで居る

『叙上の　次第で何時解決を見るか想像さへ許さない状勢にあるので罷業が応ずれば良きく罹それ丈け会社が將來に暗影を投ずるものであるから此の際伊藤善山の自決を待つて道尚なる後任者に依り前回に述べた如く外科的大手術を施さにあらざれば会社の更生の途はないであらうと云ふ』と

以上の如く社会の輿論は挙げて伊藤氏を攻めて居ると同時に爭議の音を遠なることを散しで居ります尚詳細に同様なお　参考として下されば

昭和二年十一月十日

谷　株式会社　殿

品川白煙丸株式会社爭議團

曾社の金を
チロマカして
不義の快樂
にふけゐ
伊藤の
奥体を
見よ